学校番号	414

令和８年度　理科

教科	理科	科目	生物基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	i 版　生物基礎　改訂版（啓林館 生基０６１－９０２）						
副教材等	Navi &トレーニング三訂版（高校生物研究会・啓林館編集部）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

生物の基礎について教科書の内容に沿って学んでいきます。生物の特徴、遺伝子、体内環境、生態系の各章について知識だけなくそれぞれについて説明できたり、予想できたり興味を持って主体的に勉強できることをめざして学んでいきましょう。そのために適当な実験や観察を出来るだけ多く取り入れる予定です。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
生物の基本的な概念や原理・原則を理解し、科学的な観察し考える力を身に付けている。
【思考力、判断力、表現力等】
生物の基本原理を理解し、生物に関わる現象について考察し、自分の考えや意見を適切に表現できる。
【学びに向かう力、人間性等】
生物の原理原則に興味・関心を持ち主体的に科学的持続的に学習に取り組むことができる

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	知識の習得や知識の概念的な理解，実験操作の基本的な技術の習得ができているか。	習得した「知識・技能」を活用して課題を解決できる思考力・判断力・表現力などを身に付けているか。	知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力などを身につける過程において，積極的に学習に取り組んでいるか，学習を調整しようとしているか。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	生物の特徴	生物の多様性と共通性 生命活動とエネルギー	a:　生命活動に必要なエネルギーと代謝について理解し、知識を身に付けている。ＤＮＡの情報に基づいてタンパク質が合成されることを理解し、知識を身に付けている。	小テスト 定期テスト	プリントの記述 クロームブッ	授業感想シートの記述 課題提出・発表

	遺伝子とその働き	遺伝情報を担う物質 遺伝情報とタンパク質	b: 体細胞分裂の前後で遺伝情報の同一性が保たれていることを考察し、導き出した考えを表現している。 c: 生物の多様性と共通性、遺伝現象とＤＮＡに関心を持ち、意欲的に探究しようとする。		クへの記入 定期テスト	
２学期	生物の体内環境	神経系と内分泌系による調節 免疫	a: 「体液濃度の変化」に関する探究活動を行い、生物学的に探究する方法を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理している。 血糖濃度や体温について，体内の状況にあった恒常性のしくみについて理解する。糖尿病について，その原因を正確に捉えることができる。 b: 腎臓の構造と尿の生成・水分量の調節の関係について，図を用いて説明できる。 c: 自分の生命を支える器官系のはたらきを確かめ，それらが体液で満たされた体内環境の中ではたらいていることを，自分のものとして実感している。	小テスト 定期テスト	プリントの記述 クロームブックへの記入 定期テスト	授業感想シートの記述 課題提出・発表
３学期	生物の多様性と生態系	植生と遷移 生態系とその保全	a: 生態系と物質循環について観察、実験、資料収集などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理している。植生遷移の過程と遷移が起こるしくみについて理解している。 b: 「生物の多様性と生態系」に関する探究活動を行い、事象や結果を考察し、導き出した考えを表現している。 c: 植生を優占種や相観という観点から分類する態度を養う。また，森林では階層構造が成立することや植生と土壌の関係についても興味・関心をもっている。			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度